

かとうクリニック 第26号



発行日：令和元年7月1日 発行人：かとうファミリークリニック

血液検査 その見方のコツ

6月も終わり、あっという間に1年の半分か過ぎてしまいました。プールも始まり夏かせ(溶連菌・ヘルパンギーナ)や手足口病の患者さんが多いようです。気をつけましょう。

5月から一宮市の特定健診・後期高齢者健診が始まっておりますが、健康診断や普段の血液検査の結果をご覧になって、HやLといった印がついていると気になりますよね。

● 基準値とは

血液検査の項目には「基準値」が決められており、それを上回る(High)とH、下回る(Low)とLの印がつきます。基準値は健康な人の集団での平均値をはさんで95%の人が含まれる値の範囲に設定されています。裏を返すと、健康な人の5%は異常がなくても基準値から外れてしまう、ということになります。基準値を外れた、ということが直ちに異常というわけではない、ということを理解する必要があります。ご自身の結果を基準値と照らし合わせ、その傾向を知っておくのは良いことだと思います。

● 検査項目にはそれぞれ「性格」がある

血液検査の結果表は数値の羅列に見えますが、それぞれの項目で数値の重みづけが異なります。どうということかという、電解質のカリウム値のように数値が1違うだけでも大変気にしないといけない項目もあれば、中性脂肪のように50くらい多くてもそれほど大きな問題にならない(とは言っても低いに越したことはないですが…)ものもある、という具合です。また一項目だけの異常値ではあまり意味を持たず、他の項目とあわせて評価することで意義のあるもの(LDHなど)もあります。このように検査項目各項目を見る視点と全体で俯瞰する視点が必要です。

● 1ポイントだけで評価できないこともある
ここでひとつクイズを。下の写真のテニスボールはどの方向に動いているのでしょうか？

- 右から左？
- 上から下？
- 下から放り投げて落ちてくる直前？
- 速い？ゆっくり？



この写真1枚だけではわかりませんね。

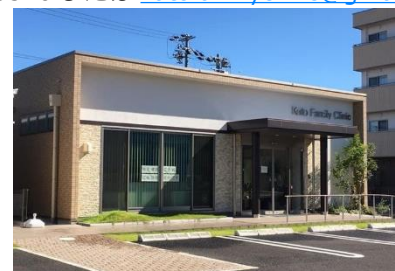
1回の検査結果はこのようなスナップ写真と同じで、ある1ポイントでの状態はわかりますが、その後上昇してくるのか、低下してくる途中なのかまではわかりません。急性の病気と慢性の病気では変化のスピードも異なりますので適切なタイミングで再評価することも重要になります。また健診データなどで健康な時の値を知っておくことで、病気を発症したり悪化した時にどのくらい変化があるのかを知ることができますし、治療によってどの程度改善したかを評価することができます。

検査の内容や項目については、症状や疑われる疾患によって適切な選択が必要です。気になる症状がある時はお気軽にご相談ください。

スタッフ募集しております

当院ではパートの看護師さんを募集しております。「患者さん、ご家族の方、そしてスタッフ、みんなが笑顔になるクリニック」の仲間になりませんか？ ブランクのある方、勤務の希望などご相談に応じます。詳しくは院長までお気軽にお問い合わせください。

0586-71-3520 または katofamilyclinic@gmail.com まで



一宮市特定健診 後期高齢者健診
がん検診
ご予約受付中です